

戦旗

1960年12月27日発行
 発行所
 新宿区東大久保二の一五五
 世界労働運動研究所
 TEL (34) 8481
 編集者 深木 嘉一
 発行人 深木 嘉一
 印刷所 深木 嘉一

万国の労働者団結せよ！
 革命的前衛・共産主義者同盟を
 すべての工場に組織せよ！
 共産主義者同盟

「労働者の団結」とは何か

一九六〇年から学ぶもの
 岸 本 健

「戦旗」固定購読
 お申込みは
 新宿区東大久保二の一五五
 世界労働運動研究所内
 郵 政 局 局 長 官
 振替番号東京二二〇四番
 定価 一冊十円
 月 四円 半年 二十四円
 送料別 送料別

(一) 華やかな「経営者の時代」
 資本家に流す自分の労働力の代金を受けたと云うと、資本家は二年分の貸したと云うか、奪い取って行く年。新聞も組合も一
 年の回顧、経営者が中心である。安保一週一編を軸とし、戦後資本の取組を述べた「一九六〇年」が、すでに過去のものとして並べ
 ておかれた。だが、見方を変えれば、じりじりと進んでいくのが、シヤナリムの精神である。これは、労働者階級、自分自身の階級
 の流れの中にいる一人であり、今後動かざるを得ない立場にある人である。われわれ一人一人が、何を求め、何をかち取り
 を求むたか、階級の流の中に見定め、明日のために必要な準備を、われわれ一人一人が、労働者階級と同盟して進んでい
 なければならない。これは今後一層激しく進んでいく方向にわれわれを導き、真の道をさぐることにしよう。

(二) 「労働者の前進」は神話
 「労働者の前進」は、今までの石炭を輸入し石油の輸入を減らす、第二次出陣の下の
 「労働者の前進」に高らかに歌
 った。これは、労働者の前進を
 意味する。労働者の前進は、
 資本家の利益、共産主義の待望
 である。労働者の前進は、
 労働者の利益、共産主義の待望
 である。労働者の前進は、
 労働者の利益、共産主義の待望
 である。

(三) われわれの抵抗と敗退
 日本資本主義の、軍事の力
 を使った。労働者階級の中
 に、労働者階級の苦悶を
 表現し、進んでいく。労働者
 階級の苦悶を表現し、進んで
 いく。労働者階級の苦悶を
 表現し、進んでいく。

(四) 何がほんとうの敗北か
 労働者階級の敗北は、労働者
 階級の敗北。労働者階級の
 敗北は、労働者階級の敗北。
 労働者階級の敗北は、労働者
 階級の敗北。労働者階級の
 敗北は、労働者階級の敗北。

(五) 敗北の底に勝利の剣を
 だが、われわれは共産主義者同盟
 である。分派の苦悶の中で
 進んでいく。労働者階級の
 苦悶を表現し、進んでいく。
 労働者階級の苦悶を表現し、
 進んでいく。

(六) 面から
 労働者階級の苦悶を表現し、
 進んでいく。労働者階級の
 苦悶を表現し、進んでいく。
 労働者階級の苦悶を表現し、
 進んでいく。

